

「のぶすま」とは、ムササビの古
 い呼び名です。
 高尾山に住む人気者のムササ
 ビにあやかっつて、「のぶすま」と
 つけました。



解説員 ムササビ観察のマナー

ムササビの別名「のぶすま」とは、江戸時代に知られた妖怪「野衾」^{のぶすま}に由来するといえます。夜行性であることや、空を滑空するという生態が、とても不思議に思われていたようです。

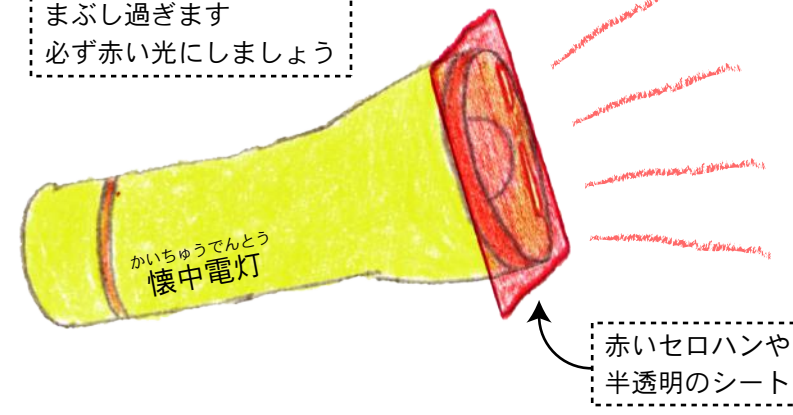
しかし、彼らは人間に観察されるために生活しているわけではありません。私達は、彼らの生活を覗かせてもらっている訳ですから、彼らへの負担を少しでも軽くできる配慮をすることが大切です。

そして現代、ムササビは恐怖の対象から、興味の対象へと変わりました。その姿を一目見ようと、高尾山にもムササビ観察者が大勢やってきます。八月の土曜の夜には、二百人ほどの観察者が集まっていることもあります。

動物の観察は、その動物を知るうえで大切なことです。また、姿を見たときの感動も大きなものです。

- ▽ムササビへの心づかい△
- ① ライトに赤いセロハンを貼る
 - ② ムササビをライトで照らし過ぎない
 - ③ 静かに観察する
 - ④ ゆずりあって観察する
- 少しの気配りが、自然を保つことにつながります。彼らの自然のままの姿を、いつまでも大切にしていきたいですね。

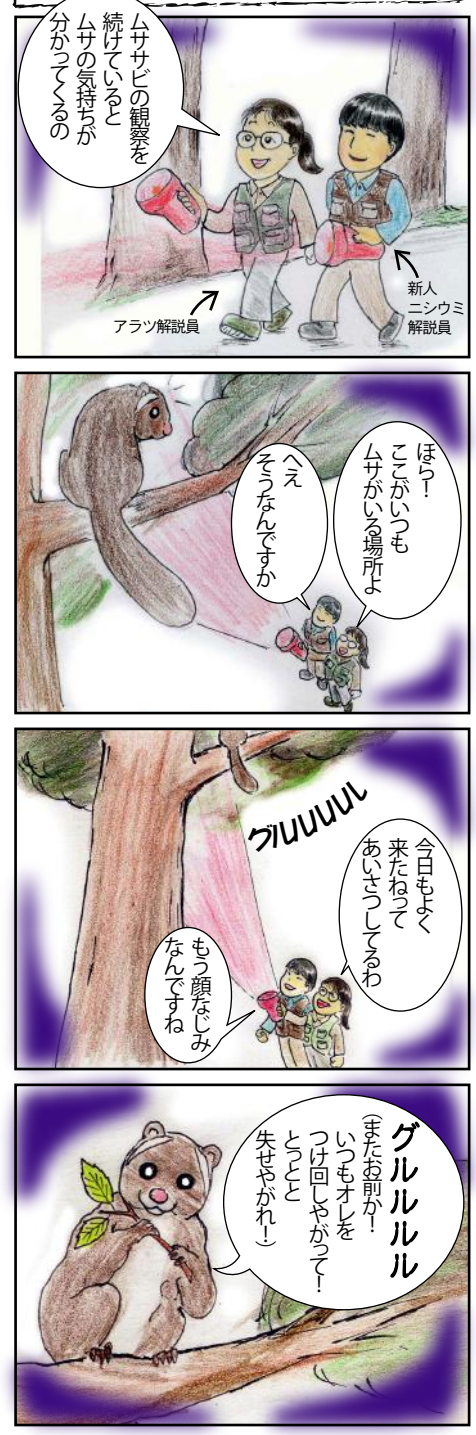
直接の光はムササビにはまぶし過ぎます
 必ず赤い光にしましょう



◆編集後記

ムササビを特集した企画は、今まであったようで、実は初めての試みでした。ムササビについては、知名度の高さや、情報の豊富さから、何となく分かったような気になっていました。しかし、改めてまとめてみると、知らなかったことや、再認識することが、とても多いこと気づかされました。この資料が、ムササビを知るための一助となれば幸いです。 T.F

高尾山4コマ漫画その11 解説員アラツの挑戦! 悲しき心のすれ違いの巻 作・画：ばん



季刊高尾ビジターセンターニュースレター「のぶすま」

2009年夏号Vo. 19 2009年7月1日発行
 発行：東京都高尾ビジターセンター 自然解説員
 所在地：〒193-0844 東京都八王子市高尾町2176
 電話：042-664-7872 FAX：042-662-9926
 ホームページアドレス <http://www2.ocn.ne.jp/~takao-vc/>

◆購読の方法

80円切手と封筒（※宛先に送付先の郵便番号・住所・氏名を必ず記載してください。）を送付希望分同封し、上記ビジターセンターまでご郵送下さい。

「のぶすま」は高尾山頂にある高尾ビジターセンターにて配布しております。ご希望の方は窓口へお申し付けください。



高尾山自然研究路情報

今回はムササビ特集！ムササビの素顔にせまります！
下図は、ムササビの食べあとと、巣穴の場所を1年を通じて調査したものです。
1号路で活動した様子がかがえます。ムササビの生活のあと、探してみませんか？

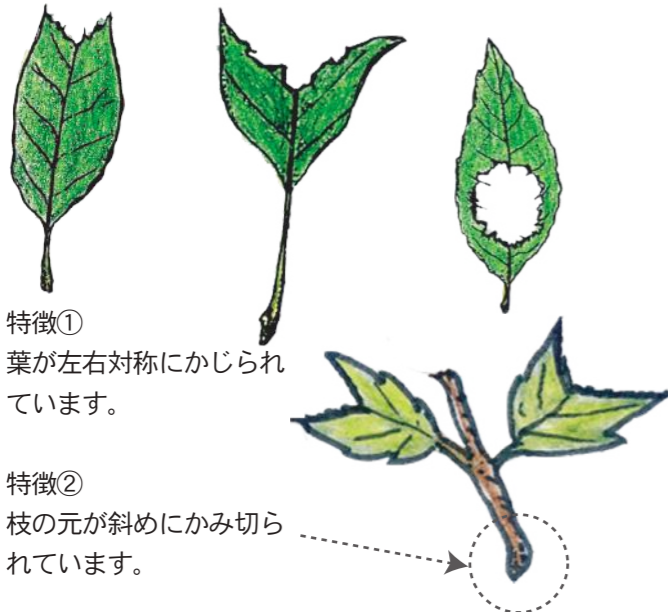


★巣穴の発見場所

ムササビは、大木にできた「洞」を巣に使用します。洞の周りの樹皮がささくれていると、巣に使っている可能性が高いです。
木の洞以外にも、リフトやケーブルカー駅の屋根裏、薬王院の軒先などに作られた巣が今までに観察されています。

☆食べあとの発見場所

ムササビの食べ物は、ほとんどが植物です。木の葉などの食べあとが、道に落ちていることがあります。彼らの特徴ある食べあとを探してみましょう。



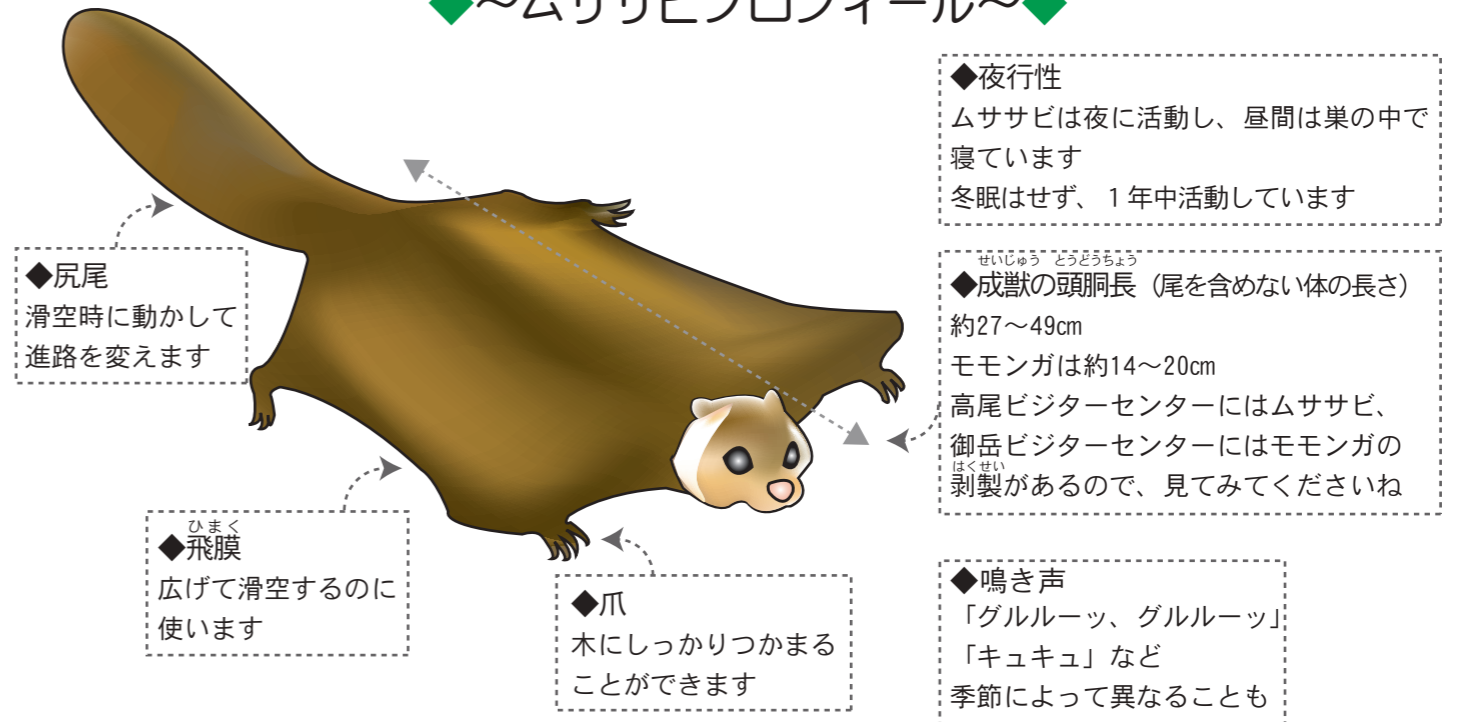
特徴①
葉が左右対称にかじられています。

特徴②
枝の元が斜めにかみ切られています。



入り口の大きさは、大人の両手の人差し指と親指をあわせてできる輪の大きさ（直径約15cm）くらいです。

◆～ムササビプロフィール～◆



◆尻尾
滑空時に動かして進路を変えます

◆飛膜
広げて滑空するのに使います

◆爪
木にしっかりつかまることができます

◆夜行性
ムササビは夜に活動し、昼間は巣の中で寝ています
冬眠はせず、1年中活動しています

◆成獣の頭胴長（尾を含めない体の長さ）
約27～49cm
モモンガは約14～20cm
高尾ビジターセンターにはムササビ、御岳ビジターセンターにはモモンガの剥製があるので、見てみてくださいね

◆鳴き声
「グルルーッ、グルルーッ」
「キュキュ」など
季節によって異なることも

◆ムササビ観察のコツ① 日没時間を知ろう

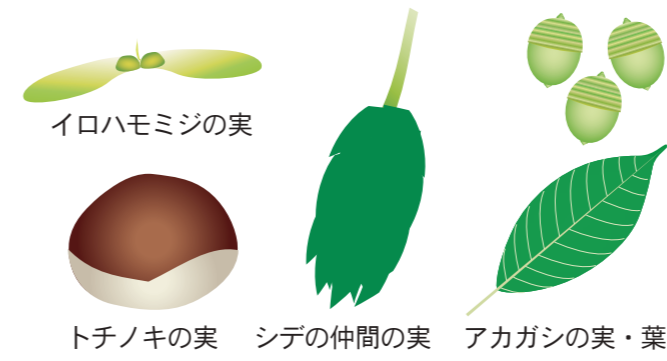
ムササビは、生活のリズムがきちんとしており、日没後30分ほどすると巣穴から出てきます。
日没時間を調べておけば、ムササビを観察できる可能性が高くなります。ただし、高尾山は夜になると真っ暗になってしまうので、懐中電灯を必ず持って行きましょうね。

◆ムササビ観察のコツ② 鳴き声を聞こう

静かにして、聞き耳を立てましょう。鳴き声が聞こえてきたら、その方向を探してみましょう。
子供が野外で活動を始める7月頃や、12月の繁殖期では、ちょっと変わった鳴き声が聞こえることがあります。
ちなみに、ビジターセンターの伴解説員は、ムササビの鳴きまねが上手です。お越しの際は伴にリクエストしてみてくださいね。

◆ムササビの食べ物

ムササビは樹木の葉や花、実などを食べています。夏の高尾山では、例えばこんな植物を、ムササビは食べ物としています。



ムササビの食べ物メニューは、季節によってさまざまです。どんな植物を食べているのか、探してみてくださいね。

◆ムササビの〇〇

地面の上で、このようなサイズの茶色い玉を見つけたら、もっと周りを探してみましょう。それが一体、何かというと……ムササビの「フン」です。
見つけやすい場所は、薬王院境内、1号路の舗装道です。最初は難しいですが、慣れてくるとすぐ分かるようになりますよ。



普通は1個ずつ落ちています

若葉や花を食べている春先はかたまりになっていることも

担当：あつ